



茜の空

令和8年度 第3号
発行日 6月5日(金)
練馬区立石神井南中学校
校長 木原 賢三

凡事徹底

校長 木原 賢三

紫陽花が雨に濡れて一層鮮やかに映える季節となりました。今年度も長寿命化工事のため、本校の校庭で実施することができず、南が丘中での開催となりましたが、多くの保護者・地域の方に参観いただき、第65回運動会が盛大に実施することができました。生徒への温かなエールと応援をありがとうございました。すべての生徒が中学生らしく最後まであきらめず真剣に競技する姿や仲間がベストを尽くしている姿を応援し、互いの健闘を拍手で称える石南中の生徒の姿を多くみることができた運動会となりました。石南中の素敵な運動会を自分たちの手で創り上げようとこれまで練習に真剣に取り組むだけでなく、実行委員を中心にみんなで声をかけ、運動が得意な生徒だけでなく、そうでない生徒も気持ちを一つにできるように励まし、支え合いながら競技や係の仕事を行う生徒の姿に大きな成長を感じるとともに、感動しました。改めて、当たり前前のことを当たり前前に行う石南中の生徒の素晴らしさを実感しました。

さて、凡事徹底とは、何でもないような当たり前前のことを徹底的に行うことを意味するとともに、その積み重ねが大きな違いを生み出すということを表しています。気持ちの良い挨拶を交わす、掃除をきちんとする、友達の悪口を言ったり、意地悪をしたりしない等、学校生活における日常の当たり前前のことをしっかりと行うとともに、それを継続することにより、自分を大きく成長させることができます。そして、そのことがより良い学校づくりにつながり、伝統となっていきます。一方、物事を徹底して続けるということはなかなか難しい事です。「少しぐらい手を抜いてもいいや」「今回はできなくても仕方がない」「みんなもできていない」など、いろいろな言い訳が邪魔をして、自己の成長の機会、可能性を奪うことも多々あります。元大リーガーのイチロー選手は、「特別なことをするために特別なことをするのはではない。特別なことをするためにふだん通りの当たり前前のことをする。」と話しています。

本校は「挨拶は心の窓を開く第一歩」をモットーに笑顔で気持ちの良い挨拶があふれている素敵な学校です。しかしながら、笑顔で挨拶をすると伝統は当たり前前に続いているのではなく、これまでの先輩方が当たり前前のことを当たり前前に継続し続けてきた成果であり、先輩から後輩へその想いを受け継ぐことで石南中の素晴らしい伝統が創られてきているのです。

授業前は準備をして待つ、黒板をきれいにする、机を揃える、ごみを拾う、困っている人に声をかける等、決して目立つことではありませんが、そうしたことに目を向けて、コツコツと取り組むことに大きな価値があります。目に見えないところや目立たないところを磨き上げることもとても大切なことです。自分のできることをコツコツと継続する、その積み重ねが、物事に真摯に向き合う姿を育み、自分を高め、大きな成果を生むことにつながっています。ぜひ、石南中の皆さんには、何気ない当たり前前のことをしっかりと行う「凡事徹底」を意識して行動し、石南中プライドを輝かせてほしいと願っています。



第65回 運動会

5月31日(日)、今年度の運動会が開催されました。当日は最高気温30度を超える真夏日となりましたが、生徒たちは今年度のスローガンの「気炎万丈 ～燃やせ! 石南中魂、今ここに!～」の通り、一人一人が情熱を燃やし、全力で自らの競技や仲間の応援、また、係の仕事に取り組む姿を見せてくれました。

本校の長寿命化工事のため、昨年度に続き南が丘中学校の校庭をお借りしての実施という制限のある環境でしたが、今年度も実行委員の生徒たちが自分たちで全体運営に携わり作り上げる行事とするべく取り組みました。閉会式の校歌斉唱では、伴奏が流れないという放送機材のトラブルがありましたが、伴奏なしのアカペラでも練習通り、各々が精一杯の声で歌い上げ、改めて「石南中プライド」を示してくれました。

保護者の皆さまには、事前の体調管理や当日の温かいご声援、励ましをいただきましたこと、心より感謝申し上げます。また、当日の受付、自転車の整理、警備・案内等のご協力をいただきましたPTA役員および各委員の皆さまにあらためて御礼申し上げます。ありがとうございました。



各クラス作成の
クラス旗



スローガン



優勝クラス

1年生 1組 2年生 3組 3年生 2組



※ sigfyにて送信しておりますが、運動会アンケートの回答にご協力いただきますようお願いします。